

第 24 回四国高等学校新人陸上競技選手権大会 競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2022 年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

- (1) 練習は、指定された練習場所を使用する。第二陸上競技場では、トラック競技・跳躍競技・砲丸投の練習を行うことができる。投てきの練習については原則試合前に現地で行うことができる。
- (2) 競技場内での練習は審判員の指示に従うこと。砲丸投の練習には特に安全に注意し、引率教諭が必ず同伴し、選手のための練習は認めない。
- (3) 棒高跳の練習については、大会当日競技開始 1 時間 30 分前より主競技場内を使用することができる。
- (4) 投擲については、大会当日競技開始 40 分前(招集完了時刻)より現地で行うことができる。
(招集状況により練習開始時刻を早める場合がある)
- (5) 雨天練習場使用について・・・雨天練習場はバックスタンド下雨天走路とする。
 - シート等の使用により独占的な使用は絶対にしないこと
 - 同一方向走行とする。(当日練習会場に掲示)
 - ハードルは使用できない。

3. 招集について

- (1) 競技者招集所は、主競技場南サイドスタンド 1F 第 1 ゲート側に設ける。
- (2) 招集時刻は競技時刻を基準とし競技順序記載通りとする。
 - * 棒高跳は点呼終了後、公式練習に入る。公式練習は 2 回に分けて実施する。
 - * 走高跳・投擲は招集完了時刻より練習を現地で行うことができる。(現地集合とする)
(その後、審判員の指示に従い公式練習を行う)
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は招集開始時刻に、招集所(競技順序★印の種目は現地)で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係(投擲種目は投擲審判員)にアスリートビブス・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。
 - ② 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による点呼は原則として認めない。ただし、2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所の競技者係に 2 種目同時出場届を提出する。
 - ④ リレー競技に出場するチームは、その種目の招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に用意しているオーダー用紙にオーダーを記入し、1 枚提出すること。
 - ⑤ 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに招集所の競技者係に欠場届を提出すること。

4. 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外競技エリア内に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。
- (4) トラック競技(セパレート種目)において、8 名(8 チーム)以内の場合は 2～9 レーン、9 名(9 チーム)の場合は 1～9 レーンで行う。
- (5) トラック競技の判定は、全て写真判定装置(全自動電気計時 1/100)で行う。
- (6) 4×100m リレーの第 2・第 3・第 4 走者は、主催者が用意するマーカー(1 カ所)を使用することができる。マーカーは監察係が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (7) 4×400m リレーの第 3・第 4 走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。コーナートップとは、第 3 コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、テークオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。
- (8) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを、2 カ所置くことができる。マークはそれぞれの審判員が現地で渡す。それ以外は使用してはならない。
- (9) 携帯電話等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (10) 競技中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第 146 条に基づき、正式に結果が発表されてから 30 分以内に、次のラウンドが行なわれる種目では 15 分以内に、当該競技者自身または、顧問が口頭で審判長に申し出ること。

5. 競技用シューズについて

スパイクの長さは9mmをこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は12mmをこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が4mm以内でなければならない。また、スパイクの数は11本以内であれば何本でもよい。

シューズの靴底（ソール）の厚さについて（TR5.2 TR5.13）

- a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
- b トラック種目について、800m未満の種目（ハードル種目、4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目（障害物競走を含む）は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
- c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソール厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。

※日本陸連競技規則に準ずる。

※競技用シューズについては【TR5.2】に基づいて実施する。必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもある。

6. アスリートビブスについて

アスリートビブスは指定された大きさ（縦16cm×横24cm）で、ユニフォームの胸部と背部に付けること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。またトラック競技者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの右後方に付けること。

7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

陸上競技ルールブック2022「競技会における広告および展示物に関する規定」の通りとする。

以下「抜粋」

(1) 上半身の衣類

- a) ウインドブレーカー・Tシャツ・トレーナー類

製造会社名／ロゴ：1箇所

文字の高さ5cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内で、40cm²以内の長方形。

- b) ランニングベスト・レオタード

製造会社名／ロゴ：1箇所

文字の高さ5cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内で、40cm²以内の長方形。

(2) 下半身の衣類

製造会社名／ロゴ：1箇所、文字の高さ5cm以内、面積40cm²以内。

(3) ソックス

製造会社名／ロゴ：1箇所、高さ3cm以内、面積6cm²以内。

(4) その他の衣類（帽子・サングラス・手袋など）

1つにつき1箇所、面積6cm²以内。メガネ、サングラスなどは2箇所まで表示することができる。

(5) バッグ

製造会社名／ロゴ：2箇所、面積40cm²以内。

(6) 商標違反時の対応

着替えさせる（裏返しにさせる）・テープを貼って隠す。

8. 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝については、主催者が公平に組み、レーン順を決定する。その結果を記録掲示板に掲示する。
- (3) リレーチームの編成メンバーは、その競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。また、リレー競技に出場するチームは、同一デザインのユニフォームで参加しなければならない。
- (4) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者（同着）が出たとき（以下同タイム者という）は、下記の方法で決定する。
 - ① 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者については、次のラウンドへ進むことができる。レーンが不足する場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。

②1500m・3000m・5000m・3000mSC・5000mWの同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。

9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は全て主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。個人所有のポールの検査は点呼時に跳躍審判員が行う。「やり」については、競技場が保有していない用具に限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻1時間前から招集開始時刻まで(混成競技は競技開始の1時間前まで)に、本部に申し出ること。検査に合格した用具(やり)については、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、その選手を含むラウンド(予選1組または予選2組または決勝)の競技終了まで競技場で預かる。そのラウンドの競技終了後に返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。
- (2) 練習用として個人の用具は競技場に持ち込んではならない。

10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

走高跳	男子	1m60(練習) 1m75(練習)	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	以降 3cm
	女子	1m35(練習)	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	以降 3cm
棒高跳	男子	3m20(練習) 4m40(練習)	3m30	3m50	3m70	3m90	4m00	4m10	以降 10cm
	女子	1m90(練習) 2m60(練習) 3m40(練習)	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	以降 10cm

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

11. 競技場の入退場について

- (1) トラック競技の競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。
- (2) 走幅跳・三段跳の選手は係員の指示に従って入退場する。それ以外のフィールド競技の選手は各自で試合会場へ入場する。
- (3) フィールド競技の入賞者は当該審判員が、トラック競技の入賞者は係員が表彰者控所に誘導する。

12. 表彰およびインタビューについて

- (1) 各種目第3位までの入賞者はユニフォームまたはチームジャージ(上半身はチームTシャツも可)で表彰を受けること(下半身はジャージ等が望ましい)。その際入賞者は決勝終了後すぐに入賞者控場所待機し、係員の指示を受けること。
- (2) 入賞者のインタビューは、入賞者控所で行う。

13. その他

- (1) 大会期間中競技場で発生した傷害や疾病はメインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 更衣は第二競技場の男子・女子更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、陸上競技場本部の記録係に記録証交付願及び交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) 記録は正面玄関2Fの記録掲示板に掲示する。
- (5) 競技場内でテントを張れる場所はサイド・バックスタンド2階通路より上の場所に限る。横断幕・部旗・のぼり等については、メインスタンドを除く、スタンド最上段とする。ただし個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (7) 今大会は発声による応援は禁止とする
※フィールド競技が行われている場合、集団での応援行為は禁止する。
- (8) その他、詳細については事前監督会議で説明する。
- (9) 届け出用紙は以下の場所に用意してある。
・2種目同時出場申請書・欠場届・リレーオーダー用紙・・・招集所(南サイドスタンド1F)
・記録証明書交付願・抗議申立書・・・本部(主競技場1F第2会議室)
- (10) 投擲種目の計測は最初の有効試技を計測し、その後は記録が伸びた試技の計測を行う。
(第24回大会のみ実施)

＜練習会場日程＞

	10月15日(土)	10月16日(日)
主 競 技 場	8:00～9:30	7:30～9:00
	<ul style="list-style-type: none"> ●トラック競技 (1.2レーン)周回練習 (3.4.5.6.7レーン) jog 以外 (8.9レーン)100m・110mハードル ●跳躍競技(全般) 但し踏み切り板は三段跳に設定 ◎棒高跳(競技開始1時間30分前から) 	<ul style="list-style-type: none"> ●トラック競技 (1.2レーン)周回練習 (3.4.5.6.7レーン) jog 以外 (8.9レーン)400mハードル ●跳躍競技(棒高跳・三段跳以外) (走高跳は競技開始50分前<招集完了時刻>より自由練習を行うことができる)
雨 天 練 習 場	8:00～	7:30～14:30(時間厳守)
	<ul style="list-style-type: none"> ○雨天練習場は同一方向走行とする。(当日練習会場に掲示) ○ハードルは使用できない。 ※シートやマット等の使用により独占的な使用は絶対にしないこと 	
第 二 競 技 場	7:30～17:00	7:30～14:30(時間厳守)
	<ul style="list-style-type: none"> ●トラック競技 (1.2レーン) 周回練習のみ (3.4.5.6レーン) Jog 以外 (7.8レーン) 100m・110mmH 練習(～13:30) (13:50～400mH)・・・7台 ●跳躍競技(棒高跳以外) ▲三段跳は指定時間のみ(8:00～12:10) (男子のみ) 8:00～9:30 (女子のみ) 10:00～12:30 ▲走幅跳は三段跳指定時間以外 12:30～走幅跳用の踏み切り板設置 ▲走高跳1ピットのみ ●投てき競技(砲丸投以外)練習禁止 円盤投・ハンマー投については招集完了時刻より自由練習 (投擲審判の指示に従いその後公式練習) 	<ul style="list-style-type: none"> ●トラック競技 (1.2レーン) 周回練習のみ (3.4.5.6レーン) Jog 以外 (7.8レーン) 400mハードル練習・・・5台 ●跳躍競技(棒高跳・三段跳・走高跳以外) ▲走幅跳 7:30～ (男子のみ) 7:30～ 8:50 (女子のみ) 9:00～11:20 ●投てき競技(砲丸投以外)練習禁止 やり投は招集完了時刻より自由練習 (投擲審判の指示に従いその後公式練習)

練習については競技役員の指示に従うこと。

全ての練習会場で、レーンを占有する行為は全て禁止とします(ドリルや器具を置くなど)。

※金曜日の練習について(12:00～16:30)

- 主競技場・第2競技場(<>内の数字は第2競技場)
1～2レーン(周回)、3～7<6>レーン(Jog 以外)、8～9<7～8>レーン(ハードル)
- ◎跳躍種目(棒高跳の練習は主競技場のみ)
主競技場の棒高跳練習時間・・・女子 12:00～14:00、男子 14:00～16:00
- ◎投擲練習(第2競技場砲丸投以外)は禁止。
助走練習やターン練習のみとする。(ただし、投擲物を持つての練習は不可。タオル等は可)